

新型コロナワクチン追加接種について

1. はじめに

12 歳以上で新型コロナワクチンを 2 回接種して 5 か月以上経過した小児には、3 回目の追加接種が推奨されています。小児に対する新型コロナワクチンに関する有効性と安全性の情報が蓄積され、メリット(発症予防や重症化予防)がデメリット(副反応等)を大きく上回ることがわかり¹⁾、小児の追加接種の対象年齢が 5～11 歳まで引き下げられたため、新型コロナワクチンの 2 回目の接種を完了した 5～11 歳の方へも、接種券と共にこの資料をお送りしています。

この資料をお読みいただいた上で、接種を受けるかのどうかの判断をしてください。



2. 小児の新型コロナワクチン追加接種の考え方

① オミクロン株の小児への影響について

小児の新型コロナ感染症の 95%以上は軽症ですが、クループ症候群、熱性けいれんなどの中等症や、入院治療が必要な小児多系統炎症性症候群*、脳症、心筋炎などの重症例が報告されています。オミクロン株による第 6 波の流行以降、小児患者数の急増に伴い、以前は少数であった小児の重症例と死亡例も増加しています。

* 小児多系統炎症性症候群：新型コロナ感染後の小児が、発熱の他、腹部や循環器など複数の臓器に強い炎症を起こす症候群

② 小児のオミクロン株感染に対して、新型コロナワクチンは重症化予防効果があるのか？

小児に対する新型コロナワクチンの重症化予防の情報は大規模な研究成果が蓄積され、オミクロン株を含め重症化予防効果が 40～80%程度認められることが確認されています。

③ 小児のオミクロン株感染に対して、新型コロナワクチンは発症予防効果があるのか？

海外ではオミクロン株流行以降の、5～11 歳の小児に対するワクチンの感染予防効果は 31%、発症予防効果は 51%、入院予防効果は 68%と報告されています。重症合併症の一つである小児多系統炎症性症候群の発症は約 90%予防されています。

④ 5～11 歳の小児に対しても、新型コロナワクチン追加接種(3 回目)は必要か？

5～11 歳のワクチンは 12 歳以上用のワクチンよりも効果が落ちること、接種後の時間経過とともに減衰することが確認されています。12 歳以上のワクチンも、発症予防効果と重症化予防効果が時間経過と共に減衰しますが、追加接種により効果が回復することが報告されています。2 回目接種より 5 か月以上経過した 5～11 歳の小児にも 3 回目の追加接種が推奨されます。

⑤ 5～11 歳の新型コロナワクチンの安全性の情報は？

米国の 5～11 歳の小児に対するファイザー社製の新型コロナワクチン接種後の健康状況調査では、2 回接種後の局所反応(接種部位の痛みや腫れ)が 57.5%、全身反応(頭痛・倦怠感・37.5℃以上の発熱)が 40.9%に認められ、発熱は 1 回目接種後 7.9%、2 回目接種後 13.4%に認められました。

接種後の心筋炎は、2 回接種後 100 万接種当たり男児 2.7 件、女児 0.8 件と 12 歳以上に比べて少なく、国内の報告でも接種後の心筋炎疑い例は、2 回接種後 100 万接種当たり男女合わせて 2.6 件と、米国男児の報告と変わりません。

⑥ 5～11 歳の小児への追加接種(3 回目)で使用されるワクチンは？

1・2 回目接種と同じ小児用ファイザー社ワクチンになります。

2 回目接種から 5 か月以上経過した時点で、12 歳になった小児は、12 歳以上に使用されている成人と同じワクチン(10月以降は、ファイザー社オミクロン株対応ワクチン)を使用します。

⑦ 重症化のリスクの高い基礎疾患について

基礎疾患のある小児患者において重症化リスクが増大することが、報告されています。リスクの高い基礎疾患については、「新型コロナウイルスワクチン接種に関する、小児の基礎疾患の考え方および接種にあたり考慮すべき小児の基礎疾患等」²⁾を併せてご参照ください。

⑧ 既に新型コロナウイルスに感染してしまったが、追加接種は必要か？

新型コロナウイルスに一度感染した方も再度感染する可能性があります。また自然に感染するよりワクチン接種の方が、新型コロナウイルスに対する血中の抗体価が高くなるため、感染歴がある方も追加接種を受けることが推奨されます³⁾。感染歴のある方が接種を受ける時期については、かかりつけ医と相談してください。

⑨ 接種後、ごく稀に生じる心筋炎や心膜炎についての注意点は？

接種後数日以内に胸痛、息切れ(呼吸困難)、動悸、むくみなどの症状が現れた場合は、すぐに医療機関を受診し、新型コロナワクチンを受けたことを伝えてください。



【出典】

1) 日本小児科学会・感染予防接種・感染症対策委員会

「5～17 歳の小児に対する新型コロナワクチン接種に対する考え方」(2022 年 8 月 10 日)

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=451

2) 日本小児科学会・感染予防接種・感染症対策委員会

「新型コロナウイルスワクチン接種に関する、小児の基礎疾患の考え方および接種にあたり考慮すべき小児の基礎疾患等」

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=409

3) 厚生労働省 新型コロナワクチン Q&A 「新型コロナウイルスに感染したことがある人は、ワクチンを接種することはできますか」

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/aa/0628.html>

4) 厚生労働省 5 歳から 11 歳のお子様の保護者の方へ 〈新型コロナワクチン(3 回目)のお知らせ〉